

支部活動報告

日本空手協会 流山支部

令和2年9月7日より、流山市立北部中学校の授業で空手道の指導をしています。中学校では武道が必修科目に組み込まれており、コロナ対策として対面せずに学べる空手道の形を取り入れることとなり、授業が始まりました。

まずは空手についての説明



基本練習



形練習



授業は、全学年男女含め、1回あたり約30～80名で行ないます。真剣に説明を聞き、見て、考えて、一生懸命学んでいました。空手道を通じて、礼儀など日本古来の武道文化を感じてもらい、素晴らしさが伝わるよう取り組んで行きたいと考えています。